

市民相談
お待ちしております!!

- | | |
|-------|--------|
| 役所の対応 | カーブミラー |
| 街灯の設置 | 市バスの要望 |
| 年金相談 | などなど |

何でも構いません。
市民の皆様のご相談をお待ちしております。



ポスターの
ご掲示をお願い
いたします。

ご自宅や営業所、駐車場や畑など
ポスターのご掲示をしていただける
場所がございましたら、是非とも
ご協力よろしくお願いいたします。

ボランティア
大募集!!



中島たくや新聞は、南区の
すべての世帯へ1件、1件、
配布しております。
ご町内の配布だけでも
お手伝い頂けると大変に
助かります。

中島 拓哉 事務所

〒601-8452
京都市南区唐橋堂ノ前町1
(九条七本松東入ル)

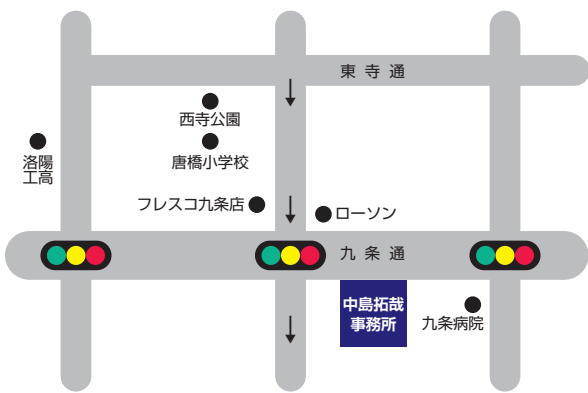
075-691-5991 075-320-1385

info@nakajimatakuya.com

http://nakajimatakuya.com

@nakajimata

https://www.facebook.com/nakajima.takuya.kyoto



「京都党」とは

2010年8月に結党した
京都発のベンチャー政党。
国政の風にかれることなく、
京都の未来をど真ん中に
見据える地域政党。
現在、市議4名。
市民与党として
しがらみ政治を一掃中。

主要政策

- 1 行財政改革
- 2 リニアの京都誘致
- 3 文化首都構想

プロフィール

昭和58年12月13日生まれ。
同志社大学政策学部卒。
金融ハイテクベンチャー
(東証1部)を経て、
京都党の結党に参画、
政調会長に就任。
平成23年4月、
4,073票を頂き初当選。
唐橋消防団員。
松尾大社大宮社青年会副会長。

京都市議員(地域政党「京都党」)

中島たくや新聞

第11号

議会改革特別編



市民の皆様にご信頼して頂ける議会を目指して、議会改革を訴えております。
本号では議会改革の最前線をご報告。是非、ご一読ください!!

今号のラインナップ

議会に喝!!

- 1.さらなる議員定数の削減を!!
- 2.海外視察にNO!!

市政 Good News!!

議会改革ランキング
全国9位

議会政策提言

災害時の
議会対応を!!

▼稲荷祭りに参加しました。



▼同志社大学のパンフレットでご紹介頂きました。



▼消防団の総合査閲に1番員で出場しました。



▲北大路駅を美しくする会の清掃活動に参加しています。

▲最新の教育環境を視察しました。

議会に喝!! 1 さらに議員定数の削減を!!

2010年11月、京都党は議員定数を9名削減する直接請求を実施。3万3,704名もの市民の声を当時の議会に提出した。

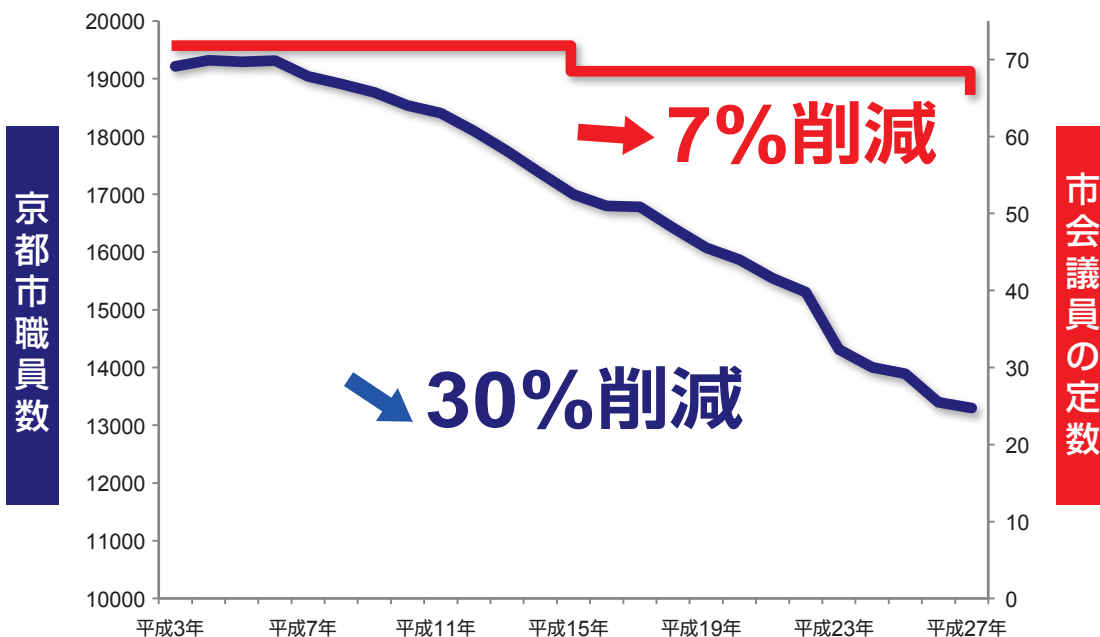
しかし、当時の議会は満場一致の反対で削減を否決。

市民の声を無視する自己保身。

あれから3年半、京都党も4議席を頂き、市会改革の場で声を大にして議員定数の削減を訴え続けた。

そして、ようやく議員定数の削減が一步前進した。

とはいえ、京都党が主張する9名削減は他会派の賛同を得られず、削減は2名(上京区、左京区)のみ。行財政改革の前にその旗振り役の議員から改革の模範をすべきだ。議員定数がほとんど変わらない中に職員数はここ20年で大幅減。議会はその4分の1以下の削減にとどまるのだ。これでは主客転倒ではないか。議会の率先した行動こそ必要だ。



議会政策提言!!

災害時の
議会対応を!!



天災は忘れたころにやってくる。この警句を目の当たりにしたのが、昨年9月の台風18号であった。京都市では53年ぶりの大規模水害となった。京都市は全庁をあげて災害対応に取り組み、迅速な災害復旧に取り組んだ。一定の評価はしたい。しかし、議会の対応には問題がある。災害直後は多大な行政ニーズが生じ、地元の議員にもその声が届く。そして複数の議員が個別に同じような問い合わせを担当部局にする。その結果、**役所では個別での議員対応が必要となり、災害復旧の人員に支障が生じることもあるのだ。**

だからこそ、災害時の議会対応が必要だ。これには東日本大震災時の岩手県議会の取り組みが参考になる。当時の**岩手県議会は地元要望の窓口を市会事務局に一本化**し、個別での担当部局への問い合わせを禁止した。なおかつ市民の要望とその対応状況を取りまとめ、各議員に定期的の開示した。これにより、議会主導でのスムーズな市民と役所との連携を実現したのだ。これこそ我々が学ぶべき教訓である。**平常時にこそ、災害時での議会対応を明確化し、いつ起こるか分からない災害に備えるべきだ。**

議会に喝!! 2 海外視察にNO!!



議員の海外視察がまたスタートした。自民党(3人)、民主党(2人)、公明党議員(3人)が動物愛護の調査として、ヨーロッパを7泊9日で周遊する海外視察を断行した。この海外視察は平成18年度より、「観光目的化している」との住民訴訟が起きたことを踏まえ、実施を凍結。しかし、昨年度より再開したのだ。

ひとりあたり100万円の予算で総額は約1千万円となる。ビジネスクラスに乗るなど経費の節約に努めたか甚だ疑問だ。財政非常事態宣言をしておいて、議員団ご一行でヨーロッパにまで視察する必要はどこにあるのか。国内の先進事例の調査は十分なのだろうか。海外視察は、議員個人に支給される政務活動費で行くべきだ。

年度	テーマ	視察先	参加者	金額
24年度	エネルギー	ドイツ、スペイン	6人	685万円
24年度	都市交通	シンガポール、イギリス、イタリア	7人	801万円
25年度	動物愛護	ドイツ、フランス、イギリス	8人	974万円

市政Good News!!

議会改革ランキング
全国9位



早稲田大学マニフェスト研究所が2013年の議会改革ランキングを発表した。京都市会では全1,789議会の中で9位にランクイン。まだまだ課題が山積みの京都市会ではあるが、委員会のネット中継などの情報公開や住民参加の取り組みが評価された結果。全国1位に向け、さらなる議会改革を訴え続けたい。

順位	議会名
1位	三重県議会
2位	四日市議会
3位	堺市議会
4位	鳥取県議会
5位	会津若松市議会
6位	上越市議会
7位	高山市議会
8位	流山市議会
9位	京都市会